

* * *

学 会 記 事

* * *

§ 平成 18 年第 1 回日本核医学会理事会
議事録

日 時：平成 18 年 2 月 6 日 (月) 12 時～16 時
場 所：ルビーホール (12 階) 明星・光雲の間
出席者：

理事長：日下部きよ子

理 事：油野民雄，井上登美夫，宇野公一，
遠藤啓吾，菅野 巖，小泉 潔，
小須田茂 (春季大会大会長)，
阪原晴海，佐治英郎，穴戸文男，
中條政敬 (学術総会会長)，
中村佳代子，福田 寛，本田憲業，
松田博史，米倉義晴

監 事：久保敦司，玉木長良

書 記：戸川貴史 (幹事)

事務局：神田正子事務局長

欠席者：西村恒彦理事

議題

I. 審議事項

1. 日本核医学会会則について (資料)
附則 9 の日付については，次回評議員会開催日とする。
2. 法律顧問契約について (資料)
日本核医学会が法律事務に関し野村憲弘弁護士と顧問契約を締結した。
HP 上でも会員に「お知らせ」として掲載する。
3. ICRP 委員の活動支援について
現在，放射線防護連絡協議会へ年間 5 万円を寄付しているが，これを ICRP 委員の活動支援に充当し，放射線防護連絡協議会への寄付はとりやめる。

II. 報告事項

1. 第 46 回総会準備状況報告 (資料)
演題募集はインターネットによるオンライン応募とし登録開始日は平成 18 年 4 月 6 日，締切日は平成 18 年 5 月 6 日である。
2. 第 47 回総会準備状況報告
平成 19 年 11 月 4 日 (日)～6 日 (火) に仙台国際センターで開催する。
3. 第 6 回日本核医学会春季大会準備状況報告
平成 18 年 2 月 6 日現在で 250 名の申し込みがある。750 名を超えたら受付を終了し，HP 上にも申し込み終了の案内を掲載する。
4. 会計報告 (平成 17 年 9 月～平成 17 年 12 月) (資料)
月次収支計算書が報告され承認された。
5. 委員会報告
 - 1) 編集委員会 (資料)
編集委員が交代した。投稿のオンライン化については検討中である。
 - 2) 教育・専門医審査委員会 (資料)
指導医制度の導入については，次回 (平成 18 年 3 月 16 日開催予定) の教育・専門医審査委員会で最終決定する。
 - 3) PET 核医学委員会 (資料)
「FDG-PET がん検診ガイドライン」，「FDG-PET 検査における安全確保に関するガイドライン」および「院内製造された FDG を用いた PET 検査を行うためのガイドライン」を冊子として製本し，会員全員に配付する。
 - 4) 健保委員会 (資料)
「PET/CT 検査」は「保険適用する優先度が高いと考えられる新規技術」に「婦人科癌の FDG-PET 検査，食道癌の FDG-PET 検査」は

「再評価する優先度が高いと考えられる既存技術」にそれぞれリストアップされており、保険適用が認められる可能性がある。

5) 広報委員会

将来的には、HPを「会員向け」と「一般市民向け」に分ける方針で検討中である。

6) 法人化対応委員会

報告事項なし

7) 標榜科推進委員会

報告事項なし

8) リスクマネジメント委員会(資料)

報告事項なし

9) 放射線防護委員会

宇野公一、大野和子、阪原晴海、細野眞、米倉義晴の5名を委員とした。

10) 倫理検討委員会

報告事項なし

11) 放射性医薬品臨床評価ガイドライン作成委員会

報告事項なし

12) 核医学イメージングガイドライン作成委員会

現在ガイドライン作成に向け準備中である。

6. ワーキンググループ(資料)

「癌診断および癌スクリーニング検査としてのFDG-PETと拡散強調MRI」(研究代表者：遠藤啓吾)が平成17年度、18年度のワーキンググループとして新たに承認された。

7. 分科会活動

1) 腫瘍・免疫核医学研究会

第39回腫瘍・免疫核医学研究会を平成18年5月27日(土)に大宮で、第40回腫瘍・免疫核医学研究会を平成18年9月9日(土)に浜松で開催予定である。

2) 日本脳神経核医学研究会

報告事項なし

3) 日本心臓核医学研究会

報告事項なし

4) 呼吸器核医学研究会

第15回呼吸器核医学研究会を平成18年11月11日(土)に鹿児島で、第16回呼吸器核医学研究会を平成19年4月21日(土)に大宮で開催予定である。

8. 国外学会等連携担当理事

1) 世界核医学会

2006年年会費は2005年と同額とし180ドルを支払う。

2) 米国核医学会

2006年も日本核医学会ブースの提供を受ける予定である。

3) アジアオセアニア核医学会(ARCCNM 兼務)

報告事項なし

4) 日韓中核医学会

平成18年4月に詳細が決定される予定である。

9. その他

1. 日本核医学技術学会との連携について(資料)

資料「会告7-(1)」の「日本放射線技師会等」を「日本放射線技師会のいずれか」に修正する。

2. 専門医広告について(資料)

認定医から専門医への変更の要件に関する細則を追加提出する予定である。第1回～第5回春季合同セミナーの参加者を学会として把握しておく必要がある。

3. 日本放射性医薬品協会のビジョンについて(資料)

資料の内容について意見があれば、事務局まで連絡する。

III. 確認事項

1. 前回議事録(案)(資料)が承認された。

IV. その他

次回理事会は、2006年5月26日(金)9時～12時に大宮で開催することとした。

配付資料

資料	日本核医学会会則	資料	の速報
資料	顧問契約書	資料	平成 17 年度 リスクマネジメント委員会
資料	我が国からの ICRP 委員の活動支援に対するご協力をお願いについて	資料	日本核医学会 平成 17 年度ワーキンググループ (WG)
資料	第 46 回日本核医学会学術総会開催のご挨拶	資料	会告 日本核医学専門技師認定機構の設立および第 1 回核医学専門技師認定試験のお知らせ
資料	月次収支計算書	資料	専門医資格認定団体に係る基準該当届
資料	編集委員会報告	資料	有限責任中間法人日本核医学会設立総会・平成 17 年度第 1 回理事会議事録
資料	第 76 回日本核医学会教育・専門医審査委員会 (新旧合同委員会) 議事録	資料	日本放射線医薬品協会のビジョン
資料	PET ガイドライン集作成について		
資料	内科系学会社会保険連合の参加委員へ		